

買切案内

2024年8月21日オンデマンド化

日本キリスト教団出版局

井上洋治
著作選集

別
巻

井上洋治全詩集

イエスの見た青空が見たい



井上洋治 (いのうえ・ようじ)

1927年、神奈川県に生まれる。東京大学文学部哲学科を卒業。1950年、フランスに渡り、カルメル会修道会に入会、修道のかたわらリヨン、リールの各大学で学ぶ。1957年カルメル会を退会し、帰国、1960年、司祭となる。1986年より「風の家」を創める。2014年3月8日逝去。

やまねみちひろ

山根道公 編・解題

わかまつえいすけ

若松英輔 解説

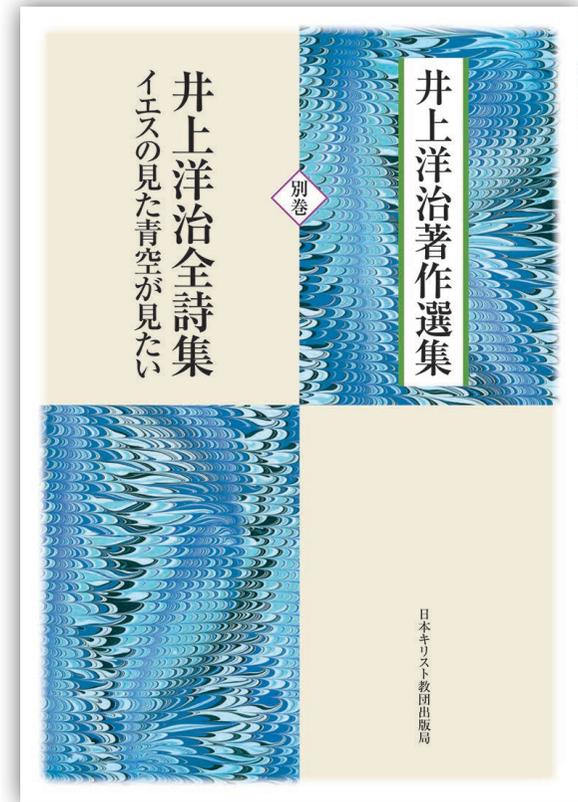
神の悲愛（アガペー）で満たされたイエスの瞳で見た青空、空の鳥、野の花が見たい。そんなイエスへの道を求めた井上神父が、自然との交感のなかで日本人の感性に誠実に御父への全幅の信頼をもってアッバと呼びかける、「南無アッバ」の祈りの詩がおのずと溢れ出る。

A5判・並製・254頁・定価3,630円（本体3,300円＋税）

ISBN978-4-8184-5132-2 C0016

【注1】 オンデマンド化に伴い上製から並製に変更しています。

【注2】 CDは付属していません。

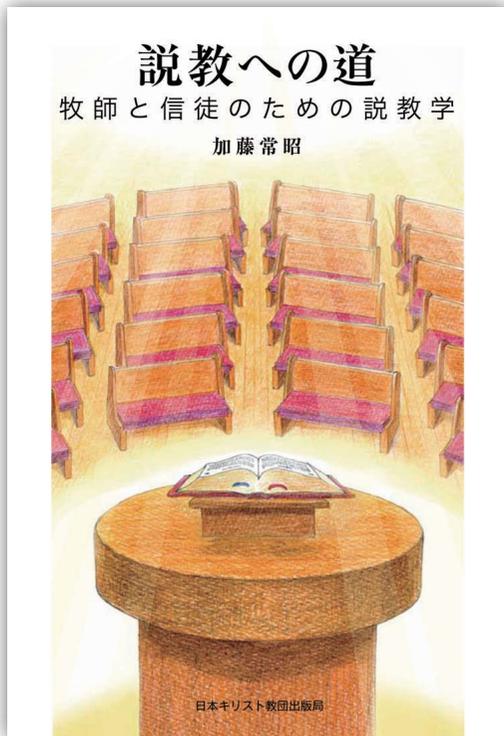


オンデマンド版
にて復刊！

買切案内

2024年8月28日オンデマンド化

日本キリスト教団出版局



説教への道

牧師と信徒のための説教学

かとうつねあき
加藤常昭 著

1929～2024年。鎌倉雪ノ下教会牧師、東京神学大学教授、説教塾主宰など多くの働きを担った。

神学校、そして説教塾で説教を共に学んできた著者が、神の言葉に仕える人々に指し示す説教に至る道のり。神の言葉として聴かれる説教の原点を確認し、与えられた聖書テキストに向き合い説教に至るまで、その歩みの同伴者として、实际的に丁寧に解き明かす。

オンデマンド版
にて復刊!

四六判・並製・178頁・定価2,200円（本体2,000円＋税）

ISBN978-4-8184-5143-8 C0016

目次

序章 初めの第一歩

第1章 説教の原点

なぜ説教を志すのですか

遣わされて語る言葉・説教

教会の言葉・説教

第2章 説教を学ぶ道

ここからだ

説教を聴き、読む学び

第3章 どのような説教を

目指しますか

聖書を語る説教

聖書に聴く——説教は何を、どのようにして語るのか

教会は尋ね続ける——説教は何を、どのようにして語るのか

第4章 説教の言葉を求めて・講解説教の歩み

第一のテキスト 第一の黙想の過程

第二のテキスト 釈義の過程

第三のテキスト 第二の黙想の過程

第四のテキスト 説教原稿の作成

第五のテキスト 説教を語る過程

第六のテキスト 聴き手が聴き取る過程 第七のテキストへ

第5章 説教の言葉を求めて・主題説教の方法

第6章 説教批評

第7章 説教への道モデル

第一のテキストから第二のテキストへ

第二のテキストから第三のテキストへ

第三のテキストから第四のテキストへ

第四のテキストから、第五のテキスト、

そして第六のテキストへ

説教「胸焼かれる神の憐れみの招き」



くまさん きかせて
せいしよのおはなし

ドン・ボスコ社

くまさん きかせて せいしよのおはなし

文 サリー・アン・ライト

絵 ドゥブラフカ・コラノビッチ

訳 ドン・ボスコ社

〔3歳～〕

くまさんが語ってくれる、
おやすみ前の聖書のおはなし。
やさしい語り口で、
わたしたちを包む
神さまの愛を伝えます。





絵／ ロザリンデ・ボンネット
デザイン／ カシア・ドウジウク
訳／ ドン・ボスコ社

[3歳～]

めくって たのしい しかけえほん クリスマス

しかけをそっとめくってみよう!
なにが隠れているかな?
リズムのよい言葉で楽しく読める、
いちばん初めのクリスマスのお話です。

ドン・ボスコ社の
クリスマス
絵本



ベツレヘムの町が見える!



著者◎ 太田和功一（おおたわ・こういち）

東京生まれ。キリスト者学生会（KGK）総主事、国際福音主義学生連盟（IFES）東アジア地区副総主事として従事。クリスチャンライフ成長研究会（CLSK）総主事として、国内およびアジアの国々でリトリートを導く。現在、CLSK シニアアドバイザー。

著書：『しばし立ち止まり、ふり返る』（あめんどう）『アジアのキリスト者とともに』（いのちのことば社）

訳書：ナウエン『静まりから生まれるもの』『いま、ここに生きる』『主の憐れみを叫び求めて』（あめんどう）

静まりと魂のセルフケア

人生のふり返りと生活の中の靈性

著者 太田和功一

ISBN978-4-900677-47-0

C0016 ¥2300E

四六判 304頁 並製
定価 2,530円（本体 2300円）

『しばし立ち止まり、ふり返る』
に続く第2弾！

【目次】

- 第1部 思い起こし、思い巡らす
- 第2部 静まりと生活の中の靈性
- 第3部 牧者としての魂のセルフケア
- 第4部 先人に学ぶ日常生活の靈性
- 第5部 聖書読みの聖書知らず
質疑応答「靈的エクササイズ
——黙想とは」

あるとき、「君は休息をどのように取っているのか」と問われてこう答えました。「することが多すぎて、取れていません」。すると、「君は必要に仕えているのか。それとも主に仕えているのか」と重ねて問われました。——過去をふり返ることの意味とは？ 休息をどのように取り、自分の魂のケアをどうしたらよいのか？ こうした体と心と魂のケアの試みと実践が本書の基になっています。

「立ち止まることのない生活は、心を置き去りにして旅をしているようなものです。旅の途上でのいろいろな出来事に遭遇し、さまざまな経験をしても、それらの意味、自分にとっての意義を見出さないなら、人生の旅をしているというより、時空をただ移動しているに過ぎないと言えるでしょう。」

著者の靈的危機と良き師との出会い。そこから始まった聖書の言葉の黙想と人生のふり返り。静まりと神の臨在を求める旅の成果が、一巻にまとまりました。